

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年1月15日

事業所名 夢ういんぐ

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4				
	2 職員の配置数は適切である	3	1			配置基準は満たしている。時々、十分でないと思う時がある。できるだけ利用者さんのニーズに応える配慮をしています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4				令和5年3月より新築移転しており、さらにバリアフリー化に配慮しています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	2			
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4				
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			法人のホームページや広報「つばさ」で公開している。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2			
適切な 支援の 提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	2			
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4				
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			標準化されたアセスメントツールは使用している。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	3	1		スタッフ間でミーティングを行い活動プログラムを考えている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4				
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4				ある程度課題設定して支援は行えているが、また、きめ細かく設定して支援ができるよう職員間でミーティングを重ねています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4				
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	1		朝礼の時間等を利用して行っている。その場でしっかりと役割分担等は確認を行っている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4			その日のうちに行うことが難しいため、次の日の業務に入る前に振り返りを行い気付いた点などの共有を行っている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4				
関係機関や 保護者との 連携	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4				
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4				
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4				
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4			事前に、学校の方に連絡し、情報共有を適切に行っている。	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		3	1	現在医療的ケアが必要な方1名受け入れている。保護者を通して連絡を行っている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3		1		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4				併設している相談支援事業所と連携をとりながら情報を提供している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3		1		専門機関が主催する講演会に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある				4	学校の長期休暇や土曜日などに「子ども交流センター」等に外出し交流する機会を作っていたが、感染対策のため交流の機会が減っている。2類から5類への変更もあったので「子ども交流センター」等へ外出しを再開し交流する機会をつくっていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4				法人(相談支援事業所、多機能型事業所等)として協議会等に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			4		併設している相談支援事業所職員が研修をうけ放課後等デイ職員に伝えている。受けた研修を生かして保護者に伝えることができていないのが現状である。今後、研修等を開催し、支援に生かしていきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4				運営規程、利用者負担等については契約時等に行っている。支援の内容については連絡ノートや保護者との話し合いの際、説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			1	3	何度か「保護者会」が必要かとアンケートをしている。特に必要ないとの返答が多数であった。今後も確認し、必要があれば保護者会を組織していきたい。 令和5年4月から事業所と保護者間でグループLINEをつくり連携していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3		1		苦情についての対応の体制は整備し子ども、保護者に周知するようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4				月に1度「お便り」を発行し、活動の様子、行事予定など子どもや保護者に対し発信している。
	35	個人情報に十分注意している	4				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2		1	1	法人全体で「つばさ祭り」等を行っている。(コロナウイルス等)感染予防対策として限定して地域の方に来ていただいています(「模擬店」等)
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3		1		緊急時対応マニュアル等は策定し職員に周知している。保護者より要望があれば連絡帳などを通して説明していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4				法人全体で会議等を通して、虐待防止のための内部研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1		3		身体拘束適正化委員会を立ち上げ組織として取り組んでいる。支援をする中で身体拘束をする場面はないが、初回面接、個別支援(モニタリング)会議時等にやむを得ず身体拘束を行う事例があった場合、利用者、保護者に説明を行なっていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4				利用に向けての初回面接で保護者からの聞き取りを行っている。医師の指示書がある場合は保護者から情報を提供してもらい対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4				ヒヤリハット事例があった場合はすぐ書類を作成し朝礼の場や掲示等で共有している。